



C

【昨年度までの学校研究の成果と課題】

- ◎Subject eye を設定するにあたり、教科の系統性や単元で働きかせたい見方・考え方を研究することで、授業者が児童に表現させたい記述を明確にもち授業に臨むことができた。
- ◎Subject eye を身に付けるために、見方・考え方カードを効果的に提示することができた。
- ▲教科等横断的に見えた課題として、事柄のまとまりと順序を整理して表現する力がまだ不十分であるということが挙げられる。
- ▲自分の考えをもち、ペアでの対話では表現できるが、書く活動で表現する事が不十分である。「対話」と「書く」をつなぐ有効な手立てをICTの活用と関連付けて深めていく必要がある。
- +羽咋市の共通実践「Hakuism」を学校研究に生かしていく。

## 日常化

無理なく共通実践  
共有と共通実践

## 対話力

聴く力（繰り返す、引き出す）  
話す力（はっきり、根拠、順序）

## 記述力

考えたことや対話したこと  
書き表す力

## +IC (Hakuism)



## 見通し

どんな見通しをもたせ、自立解決に向かうか

## 見取りを生かした 学び合いのコーディネート

リアルタイムの見取りの手立て  
(意図的指名・誤答からの学び合い)

A

資質・能力 言語能力(記述力)

P

1. 研究主題・副題・めざす児童の姿

NEW

◆研究主題  
教科の見方・考え方を働かせて適切に表現する児童の育成

～対話と ICT 活用を通して記述力の向上を目指す～

◆研究仮説

教師が、教科の見方・考え方を働かせるために、視点を明確にした対話と、ICT の効果的な活用をし授業改善を行うことで、教科の見方・考え方を働かせ、適切に表現できる児童を育成することができるであろう。

◆めざす児童の姿

考えの見通しをもち、互いの考えを伝えたり、引き出したりする児童  
自分の考えを対話や ICT 活用を通して明確にする児童  
教科の見方・考え方を働かせ、適切に表現する児童

2. 研究の重点

対話力：教科の見方・考え方を働かせる見通しをもたせた対話



ICT (Hakuism)：見取りをもとにした教師の手立てとして有効に活用



記述力：教科の見方・考え方を働かせて適切に表現する

教科の見方・考え方

### 3. 研究の方法

Hakuism 授業展開	邑知小 7ステップ	ICT 活用の意図	研究の重点	研究の手立て
導入場面	つかむ・見通す	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必然性のある課題設定</li> <li>・時間短縮</li> <li>・既習の想起</li> <li>・高い再現性</li> </ul>	<b>対話力</b>	見方・考え方カード ET(日常化)
展開場面 I	考える	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的な学びの仕掛け</li> <li>・試行錯誤</li> <li>・状況把握</li> <li>・個別差の活用</li> <li>・個別最適化</li> </ul>	<b>ICT</b>	見取りを生かした学び合いのコーディネート Jam オクリンク ムーヴノート
展開場面 II	学び合う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対話的な学びの活性化</li> <li>・他者情報の共有化</li> <li>・協働作業</li> <li>・深い学びへと誘う工夫</li> </ul>		
まとめ	まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学びの俯瞰</li> <li>・学びの共有化</li> </ul>	<b>記述力</b>	書かせたい表現の明確化
適用・習熟	生かす	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者情報の共有化</li> <li>・個別最適化</li> </ul>		EW(日常化)
	ふり返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己調整・ふり返り</li> </ul>		

### 3.評価・検証方法

対話力

ICT 活用

記述力

«授業にスポットライトのあたった検証を!!»

見方・考え方を働かせるための発問によって対話が活性化したか➡教師のコーディネート力を検証①

見取りのあとの意図的指名➡いつ・誰・なぜ指名したか➡教師のコーディネート力を検証②

記述した文章に➡記述力を検証

【研修会のもちかた】

★研究推進委員会(推進委員)

月に1回程度、研究の進捗状況の確認、各チームからの提案・確認・共有

★全体研修会(全員)

月に1回程度、共通実践の確認、各チームごとの確認

★指導案検討会(低学年ブロック・高学年ブロック)

要請訪問の指導案検討を行う(訪問日の1カ月程度前)

★模擬授業(全員)

要請訪問の模擬授業を行う(訪問日の2週間程度前)

★授業整理会(全員)

要請訪問の授業整理会を行う(訪問後)